

2020年12月17日
伊藤忠商事株式会社
大阪ガス株式会社
株式会社三井 E&S エンジニアリング
市原バイオマス発電株式会社

千葉県市原市におけるバイオマス発電所の商業運転開始について

伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 COO：鈴木善久、以下「伊藤忠商事」）、大阪ガス株式会社（本社：大阪府中央区、代表取締役社長：本荘武宏、以下「大阪ガス」）、株式会社三井 E&S エンジニアリング（本社：東京都中央区、代表取締役社長：得丸茂、以下「三井 E&S エンジニアリング」）が共同出資する市原バイオマス発電株式会社（本社：千葉県市原市、代表取締役社長：稲葉裕次、以下「市原バイオマス発電」）は、本日、商業運転を開始いたしました。

本発電所は、千葉県市原市の三井 E&S ホールディングス千葉事業場内に位置し、燃料に木質ペレットおよびパーム椰子殻(PKS)を使用するバイオマス発電所（発電容量 49.9MW）です。年間想定発電量は約 3.5 億キロワット時であり、一般家庭約 12 万世帯の年間消費電力量に相当する発電規模となります。*1

2017年9月に事業化決定の発表を行った本発電所は、三井 E&S エンジニアリングが施工を進めてきました。今後、三井 E&S ホールディングスのグループ会社が運転および保守、伊藤忠商事がバイオマス燃料の供給を行い、大阪ガスの発電所運営の知見を組み合わせることで、各社の強みを活かした安定的な発電所運営を行って参ります。

4社は今後とも国内外における再生可能エネルギーを活用した事業を積極的に推進することで、地球温暖化の防止と循環型社会の形成に貢献して参ります。

【会社・事業概要】

会社名 (出資比率)	市原バイオマス発電株式会社 (伊藤忠商事 39%、大阪ガス 39%、三井 E&S エンジニアリング 22%)
本社所在地	千葉県市原市八幡海岸通 1 番 1
設立時期	2017年9月
発電所所在地	千葉県市原市八幡海岸通 1 番 10 (三井 E&S ホールディングス千葉事業場内)
発電容量	49.9MW
使用燃料	木質ペレット、パーム椰子殻 (PKS)
施工会社	三井 E&S エンジニアリング
運転・保守会社	BURMEISTER & WAIN SCANDINAVIAN CONTRACTOR A/S (三井 E&S ホールディングス グループ会社)
燃料供給	伊藤忠商事
国内物流	伊藤忠ロジスティクス

*1 次に基づいて試算。

①年間想定発電量 : 約 3.5 億キロワット時

②一般家庭の月間平均 電力使用量 : 248.7 キロワット時 (東京電力ホールディングス HP より)

① ÷ (② x 12 か月) ≒ 約 12 万世帯

【発電所 写真】



以上